

北海道 稚内市と 友好交流都市へ



JRの最南端始発・終着駅「枕崎駅」から
 鉄道距離にして北へ3,140km
 北海道稚内市に最北端始発・終着駅「稚内駅」があります。
 本市では、この南北の関係を
 観光や産業などの発展に生かせないかと
 昨年から友好交流都市の締結へ向けた取り組みを行ってきました。
 そして7月12日、稚内市から市長をはじめ9名が本市を訪れ
 友好交流都市へ向けた署名式が行われました。

7月12日、北海道稚内市からの訪問団9名を乗せたバスがお魚センターに到着。出迎えた神園市長は、稚内市の工藤市長と笑顔で握手を交わしました。

JRの最南端始発・終着駅「枕崎駅」のある本市では、昨年からは最北端始発・終着駅「稚内駅」のある稚内市との友好交流都市の締結へ向けた取り組みを行ってきました。今年1月には、この申し入れのため、本市から市長や議長など7人が稚内市を訪問していました。

同日、水産センターで行われた署名式の席上、神園市長は「最北端と最南端のまちという響きは、大いにロマンを感じた。きいた交流を」

かきたてられる。お互いに宣伝しあい、濃厚な交流を進めたい」と歓迎。これに対し、工藤市長は「枕崎のかつお節と稚内のこんぶでダシのきいた交流を重ね、いい関係を築きたい」と味のあるあいさつで応えました。

そして、友好交流都市へ向けて官民の交流を進めていくことを確認する誓約書に互いの市長、議長が連名で署名し、固い握手を交わしました。

なお、正式な友好交流都市盟約は、稚内市議会の議決を経て締結されます。

この稚内特産品コーナーは、地場産業振興センターにも設けられています。

今後、この南北の魅力ある交流を起爆剤にして、いかに両市の発展につなげていくかが課題となります。例えば、合同物産展の開催や食の共同開発、両駅を始発・終着駅とする日本縦断ツアアの開催など、アイデア次第では大きな可能性を秘めています。

これからも、稚内市とのよりよい関係が築き上げられるように、官民一体となって盛り上げていきたいと思います。

今後、この南北の魅力ある交流を起爆剤にして、いかに両市の発展につなげていくかが課題となります。例えば、合同物産展の開催や食の共同開発、両駅を始発・終着駅とする日本縦断ツアアの開催など、アイデア次第では大きな可能性を秘めています。

左の写真
 ①南浜館を視察 ②初日の昼食会の様子。カツオのピンク料理や枕崎ぶえん鯉、本枯れ節の出汁スープなどおもてなし ③署名式で歓迎のあいさつをする神園市長 ④友好交流都市へ向けた誓約書に署名した後、固い握手を交わす。右から稚内市の岡本議長、工藤市長、神園市長、依積田議長 ⑤お魚センターの稚内特産品コーナーを視察 ⑥「枕崎駅」で記念撮影をする稚内訪問団の一行

稚内紹介 日本のてっぺん 稚内市はこんなまち

	稚内市	枕崎市
平均気温(平成22年)	7.5℃	18.4℃
最高気温()	28.0℃	34.4℃
最低気温()	-13.9℃	-0.7℃
人口(平成23年6月末現在)	38,420人	23,840人
総面積	760.89㎡	74.88㎡

▲宗谷岬の先端に建つ「日本最北端の地の碑」サハリンまでは海を隔ててわずか43km。

◎主な産業は水産業、酪農。所有する風力発電、太陽光発電でつくり出される電力は、市内で消費する電力の9割近くをまかなう。



稚内市 枕崎市 「友好交流都市へ向けて」署名式

